

平成30年度活動報告書

会 員 名	新潟市			
活 動 名	海フェスタにいがた 「帆船みらいへ」で行く 親子ツアーの開催			
主 催 者	海フェスタにいがた実行委員会			
報 告 者	所属	都市政策部港湾空港課(海フェスタにいがた実行委員会事務局)	TEL	025-226-2739
	氏名	山川 夏海	E-mail	kowankuko@city.niigata.lg.jp
協議会以外の共催・後援等	企画運営:新潟日報社 旅行企画・実施:(株)新潟日報サービスネット			
実 施 時 期	佐渡発コース:平成30年7月25日(水)～26日(木)、新潟発コース:平成30年7月28日(土)～29日(日)			
実 施 規 模	各コース20組(40名) 合計80名			
実施事業費	6,548,700円			
実 施 概 要	活 動 全 般			
	【事業概要】 海フェスタにいがたの開催を記念し、帆船「みらいへ」で佐渡～新潟間を横断する1泊2日の体験航海を実施。船内ではマスト登りやロープワークなどのアクティビティを実施しながら、約7時間の航海を楽しんだ。海フェスタの開催地の3市町(新潟市・佐渡市・聖籠町)との交流を目的とし、海の魅力を体感してもらう今夏限定の貴重な体験。 【対象】 新潟市・佐渡市・聖籠町在住の小3～6年生の親子 【参加費用】 1組 15,000円 【対象船舶】 帆船「みらいへ」 (所有者)一般社団法人グローバル人材育成推進機構			
	他の会員の参考となる新しい試み等			
	○約7時間、帆船で体験航海を行うという新しい試みを3市町が連携して行う。 ○また、体験航海以外にも、水理実験場や閘門排水機場の見学、鼓動太鼓体験やトキの観察など、地元では体験・見学できないような内容も企画。			
実施にあたり苦労した点 (今後他の会員が実施する上で注意する点)	○佐渡発の日程が平日だったためか、予想より募集が少なかった。 ○40度近い真夏日となり、塩分タブレットを配布するなど、熱中症には十分留意した。			
参加者の反響 (参加者の声)	○「帆船で体験航海し、一生の思い出になった」等の声もあり、帆船での体験航海が子供だけでなく、大人からも大変好評であった。			
活動に対するPR内容	○チラシを小学校に配布するほか、地元新聞や市報での告知。			
マスコミ等の反響	○企画運営が地元新聞の新潟日報であることから、新聞に採録紙を掲載した。			
実施状況写真	別紙のとおり			

帆船「みらいへ」で行く親子ツアー

海フェスタにいがたの開催を記念し、新潟と佐渡の連携強化のためのスペシャルイベント。グローバル人材育成推進機構所有の帆船「みらいへ」に乗船し、海の魅力を子どもたちに伝えるとともに、佐渡、新潟でその土地ならではの体験を行う。

主 催 : 海フェスタにいがた実行委員会（事務局：新潟市）

企画運営 : 新潟日報社

旅行企画 : (株)新潟日報サービスネット

対 象 : 新潟市・佐渡市・聖籠町在住の小3～6年生の親子

日 程 : 佐渡発着コース 7月25日(水)～26日(木)
新潟発着コース 7月28日(土)～29日(日)

定 員 : 各コース20組(40名) 合計80名

参加費用 : 1組 15,000円

新潟県 新潟市

帆船「みらいへ」で行く親子ツアー

セイルセット



マストクライム



休憩タイム



ヤシの実でお掃除



帆船「みらいへ」で行く親子ツアー

海の総合展

7月25日(水)～26日(木)
佐渡発着コース

25日(水)

- ・帆船「みらいへ」乗船
- ・海の総合展 見学

26日(木)

- ・水理実験場（新潟港湾空港技術調査事務所）
- ・山の下閘門排水機場
- ・マリンピア日本海



鳴り砂体験



水理実験場



山の下閘門排水機場



帆船「みらいへ」で行く親子ツアー

7月28日(土)～29日(日)
新潟発着コース

28日(土)

- ・帆船「みらいへ」乗船
- ・小学校をリニューアルした「深浦学舎」に宿泊

29日(日)

- ・佐渡太鼓体験交流館「たたこう館」で
太鼓体験
- ・トキの森公園

太鼓体験



深浦学舎で宿泊



海で遊ぶ



トキの森公園





椰子の実とデッキブラシを使った「椰子の実カーリング」はチーム対抗で白熱！半分は切った椰子の実がデッキブラシの間に挟まり、デッキ磨きに使うものだそうです。



「船に乗って
そうじするのが
楽しかったです」
新潟市秋葉区 堂森朱音さん

「私は怖くて断念したのは
子どもがマストクライムに
チャレンジして、驚きと感動と尊敬。
負けたと思いました」
佐渡市中川容子さん



高さ15mのマストクライムに挑戦！子どもは体験させたいからまずは自分が登らなきゃとがんばったお父さんお母さん続出でしたが、案外子どもたちが方が怖がっていなかった様子。



操舵体験は実際に舵を動かして「いま船が左に向かっているの、分かる？」

クルー全員力を合わせなければ、帆船は動かない。「ツシムスヒブ」のかけ声でロープを引っ張り帆を張っていく。



「船の仕事を
する人は
声がかくて
すごいなあと思
いました」
新潟市中央区 田中あおひささん

7月25日(水)に佐渡両津港あいまーと前一新潟西港山の下埠頭の航海・新潟市中央区で施設等見学体験



新潟で海と港と船を知る

新潟西港に着いた二行はメディアシップで開催中だった「海の総合展」を見学。2日目は新潟港湾空港技術調査事務所で波から港を守る取り組みを視察し、山の下埠頭 マリンピア日本海を訪ねました。



《海の総合展》
メディアシップ2Fと20Fで開催中だった海の総合展では、VRゴーグルで船の出航準備の様子を疑似体験したり、船長気分が味わえる操船シミュレーターなど各種体験



《山の下埠頭》
水位の異なる通船川と信濃川の間で船を行き来させるための施設。船が入ると川を区切って大量の水を流し込み、水位を合わせる。



「ラッコには
毛が10万本あると
知りました」
佐渡市 藤岡心頼さん



「テレビで見るとような施設が
新潟にもあるとは！」
佐渡市 野崎悦子さん
《新潟港湾空港技術調査事務所》
波から港を守るための実験を行う水理実験場や、消波ブロック、砂の特性などを体感。写真は液状化の観察

帆船「みらいへ」で行く親子ツアー

●主催 海フェスタにいがた実行委員会 ●旅行企画 新潟日報サービスネット

150年前に開港した新潟と佐渡 海と船と互いのまじりごと、たくさん知ったよ。



新潟開港150周年記念

学んで、遊んで、食べて。海がもつ好きになるーをキャッチフレーズにさまざまなイベントを展開した「海フェスタにいがた」。その一環で、帆船「みらいへ」で佐渡海峡を渡る夢のツアーが7月25日、28日の2回、実現されました。25日は佐渡両津港から新潟西港へ、28日は新潟西港から佐渡小木港へ、いずれの航海も晴天に恵まれて、澄み渡る風を帆いっぱいに受けながら青い海原を切つて進む船上では、乗船した小学生の親子連れらが、体験航海にチャレンジ。元気のいい掛け声とともに笑顔いっぱい、帆船ならではの旅を満喫していました。



7月28日(土)に新潟西港山の下埠頭一佐渡小木港北埠頭の航海・小木周辺で宿泊と体験

新潟発

佐渡の自然と文化を満喫

普段の定期航路とは違う航行で小木港に着岸し、古い小学校を改装した深浦学舎へ。街の明かりがなく、エアコンもないけれど、船上で仲良くなった仲間と佐渡の自然に元気がいっぱい。翌日は巨大太鼓「ぶたばなちゃん」のある「たたらこ館」で太鼓体験。トキの森公園などを巡り、佐渡の文化と自然を体験しました。



《トキの森公園》
佐渡の人と自然が育んだ最後の野生トキの歴史をたどり、育てられているトキを観察

「トキが餌を
取るところが
ガラス越しで
身近に見ることが
できました」
新潟市 小林孝幸さん

《深浦学舎》
鼓童文化財団が運営する、小学校をリニューアルした研修施設で宿泊。船の旅で仲良くなった子どもたちは、ここでも民謡語りや聞いた星を観察など佐渡の文化と自然に触れた。



《佐渡太鼓体験交流館 たたらこ館》
推定樹齢600年のケヤキで鼓童メンバーが手作りの巨大な原木太鼓で和太鼓体験
「太鼓を教えた先生から「上手だね」とほめられた」
新潟市中央区 本川裕亮さん

